

# 産業建設委員会

【議案第1号】 令和6年度鯖江市一般会計予算

ごみ処理費用が

増加するのはなぜ？

約2億4,211万円

**問** ごみの全体量は減少しており、市民による分別が進んでいる中で、令和6年度の処理費用が前年度に比べ約1,112万円も増加している理由は何か。

**答** 可燃ごみ、不燃ごみ、空き缶・ペットボトル等の資源物の収集業務委託費に加え、犬・猫等の動物死体の回収・焼却処理費や、不法投棄ごみの処理費および河川一斉清掃に係るごみ収集運搬業務の委託費を含めた費用である。ごみなどの回収・焼却に係る燃料費および人件費高騰の影響や、充電式電池を含む製品の回収開始に伴う経費などにより増額となっている。

なお、充電式電池を含む製品の回収開始については、令和4年8月に発生した不燃ごみに混入したリチウムイオン電池を原因とする鯖江クリーンセンターの火災を受け、再発防止のために新たな回収区分として追加することとなった。



【議案第1号】 令和6年度鯖江市一般会計予算

市営住宅のバリアフリー化は？

2,650万円

**説明** 鯖江市営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅定次団地B棟の外壁の改修工事を実施する。

**問** 市営住宅の入居者は高齢化しているが、長寿命化計画には、バリアフリー工事も含まれるのか。

**答** 現在の長寿命化計画は、屋上や外壁などを再塗装することで、建物の構造体を長寿命化するための工事を想定しており、エレベーターの設置や居室内のバリアフリー化などの高齢入居者への対応については、次の長寿命化計画や個別の補助事業などで検討していく。

**問** 現在、市営住宅には多くの高齢者が入居している。低層階に空きがなく、高層階への移転となった場合は、バリアフリー化されていないと、高齢者に大きな負担がかかるのではないか。

**答** 入居者の要望は確認しており、希望に沿った部屋を紹介するなど、高齢者をはじめ入居者に寄り添った内容で移転を進めている。

【議案第1号】 令和6年度鯖江市一般会計予算

街なか交流施設事業とは？

340万円

**説明** 鯖江駅前周辺への出店を検討している事業所や団体が、鯖江駅前の空き店舗を活用してお試し型ショップを出店できるよう整備する事業である。新たな客層の誘客を図るほか学生を中心とした若者や市民の交流スペースおよびイベント時の地場産品PRの場として活用することで、鯖江の新しい賑わいの拠点とする。

**問** 単に地場産品を販売する店ではなく、お試しショップとすることは有効だが、今後どのように事業を展開していくのか。

**答** 店舗は1ヶ月単位で入れ替え、出店への挑戦や商品の試験販売など、新境地開拓のきっかけとなるような活用を想定している。事業者にとっては新たなチャレンジができ、来訪者にとっては訪れるたびに新しい変化を楽しむことができる事業としていく。

【議案第1号】 令和6年度鯖江市一般会計予算

多面的機能支払交付金事業費

とは？

約1億6,998万円

**説明** 農地や農業用排水路などの農村環境の保全向上活動や、改修・補修による農業用施設の保全管理および長寿命化を行う組織に対して支援を行うものである。

**問** 対象となる組織はいくつあり、具体的にどのような活動を行っているのか。

**答** 現在7団体あり、農振農用地の草刈りや水路の泥上げ、水路や農道の補修、および水路の更新などの長寿命化についての活動を行っており、面積に応じて補助金を支払っている。

